

【議題1】重点戦略の強化

※主な内容 黒字：（継続）現行計画から継続して盛り込む内容 / 赤字：（新規）新たに追加することを検討する内容 / 青字：（更新）現行計画策定時からの状況の変化等を踏まえ特に記載の更新が必要な内容

※主な内容は現時点において想定している内容であり、今後の検討や状況の変化等を踏まえ、表現も含め見直す可能性があります。

1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～					
施策	取組の方向性	主な内容			
(1)	類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上	① 類いまれな歴史文化資源の継承と磨き上げ	○市民等との協働した古墳の確実な保全 ○ガス気球による眺望環境の充実 ○山口家住宅・清学院・鉄炮鍛冶屋敷などの保全・活用 ○茶の湯に親しむ機会の充実、堺の茶の湯文化の発信	○他自治体との連携による古墳群の価値等の発信 ○（仮称）堺ミュージアムの整備 ○施設や製造現場を活用した中世の堺、ものづくりの価値や魅力を体験・体感できる場の創出 ○地域に根差した祭りの後世への継承	○ビクターセンターにおける古墳群の価値等の発信 ○町家の修景、道路の美装化、無電柱化
		② 魅力ある地域資源を活かした優良な観光コンテンツの創出と充実	○桜や紅葉など四季が感じられる観光コンテンツの造成 ○地元で愛される飲食店などローカルな食の発掘と魅力発信	○相撲など特色ある日本文化の観光コンテンツ化 ○早朝や夜間の観光コンテンツの充実	○堺ゆかりの人物に着目した都市魅力の発信や向上
		③ 来訪者の満足度を高めるおもてなし環境の充実	○インバウンド誘客を見据えた多言語対応などの利便性の向上 ○内川・土居川周辺における賑わいの創出	○百舌鳥駅前広場の整備、飲食施設や自然等を活用した憩いの空間の創出など大仙公園エリアの受入環境の充実	
(2)	戦略的な観光誘客による地域の活性化	① データ等に基づく観光施策の推進	○観光消費額等のマーケティング分析のノウハウを有する大阪観光局と連携した戦略的な観光施策の推進		○ビッグデータ等の分析に基づく戦略的なプロモーション
		② 滞在時間を増やし、消費効果を高める周遊の促進	○各拠点エリアをつなぐ観光の仕掛けや周遊ルートの構築 ○他自治体や鉄道事業者と連携した広域的なエリア周遊の促進	○宿泊事業者と連携した体験・宿泊メニュー、周遊促進策の創出 ○MICE等の開催に伴う周遊、宿泊の促進	○大阪観光局と連携したインバウンドなどの誘客
		③ 多様な移動環境の充実	○堺駅、堺東駅を結ぶ新たな交通システムの確立 ○先端技術による多様な交通手段の提供	○ベイエリアと都心をつなぐ交通ネットワークの強化 ○広域自転車ルートなどを活用した自転車による周遊促進	○海上交通の導入に向けた検討
(3)	文化芸術の振興・国際交流の強化	① 文化芸術の拠点としての新たな需要の創出	○多彩な公演等による文化芸術に触れる機会の充実、来訪機会の創出 ○来場者の観光・周遊による中心市街地の活性化、地域の賑わい創出		
		② 「堺アーツカウンシル」などを活用した文化芸術の振興	○こどもから大人までの幅広い世代への文化芸術の浸透、普及促進 ○地域で活躍するアーティストの活動支援	○アーツカウンシルを活用した文化振興の人材育成	○公募型補助金による社会課題解決等の取組推進
		③ 姉妹・友好都市やアセアン諸国をはじめとする各国との国際交流の強化	○姉妹・友好都市等との交流促進、Win-Winの関係構築 ○市民の国際感覚の醸成	○外国公館等の連携強化、ネットワークの構築 ○多文化共生社会の形成に向けた外国人の受入環境整備等	○グローバル人材の育成
(4)	伝統産業のブランド力向上による活性化	① 伝統産業のブランド化	○made in 堺の発信力強化 ○環濠エリアの歴史資源との連携強化、エリアの魅力向上	○伝統産業従事者の職業としてのブランド化 ○見学・体験を通じた魅力の発信	○堺伝匠館を拠点とした伝統産業の振興・発信
		② 戦略的な販路開拓と後継者育成	○一般消費者のニーズを反映した商品開発の推進 ○伝統産業の未来を担う後継者の育成	○国内外への販路開拓の推進	○チャレンジする事業者への重点的な支援
(5)	自転車を活かした魅力の創出	① 自転車利用の拡大	○自転車の利用促進 ○広域自転車ルート利用促進	○シェアサイクルの普及	○百舌鳥古墳群、環濠エリア等の周遊手段の提供
		② 自転車安全利用の推進	○交通安全講習会、学校等における交通安全教育の実施 ○自転車乗車時のヘルメット着用の徹底	○SNSを活用した安全利用の啓発	○ライフステージに合わせた体系的な交通安全教育の実施
		③ 自転車通行環境の形成	○安全に配慮した自転車通行環境の整備	○百舌鳥古墳群、環濠エリア等の自転車通行環境の整備	
		④ 自転車駐輪環境の充実	○放置自転車の削減	○自転車利用者のニーズに沿った駐輪場の整備	○既存駐輪場の統合、再配置、改修
		⑤ サイクルシティとしての魅力創出	○スポーツ、観光面での活用 ○堺と自転車との歴史・文化に根差した取組等によるブランド力向上、魅力創造	○景観、自然を体感し、新たな発見につながる取組	○自転車賑わい拠点の整備

2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～

施策		取組の方向性	主な内容			
(1)	健康で長生きできる都市の実現	① 健やかな生活習慣の形成	○生活習慣病予防に係る科学的知見に基づく啓発	○各個人のライフステージ等に合わせた情報提供		
		② 生活習慣病の発症・重症化予防	○行動科学を活用した特定健康診査、がん検診の受診勧奨	○生活習慣病の発症、重症化の予防に重点を置いた疾病予防		
		③ 健康を支える地域社会の形成	○地域の健康増進活動の核となる人材の育成 ○健康増進活動に取り組む企業等の充実	○身近な医療機関での健（検）診受診体制の整備 ○動物愛護と適正飼育の推進	○企業等との連携による健康チェック等ができる場の整備	
		④ 地域医療体制の充実	○各医療機関の役割分担と連携の強化 ○災害時の医療提供体制の強化	○円滑な救急搬送と受入れ体制充実	○救急需要への対応、救命率の向上	
		⑤ 感染症対策の充実	○コロナ禍の経験を踏まえた医療用物資の確保や検査体制等の充実 ○新たな感染症の発生に備えた対応力の向上や関係機関との連携体制の強化			
		⑥ 在宅医療と介護の連携強化	○在宅医療や介護に係る様々な職種の連携体制の強化			
(2)	暮らしを支える包括的な支援と地域福祉の充実	① 望まない孤独・孤立対策の推進	○望まない孤独・孤立への対応			
		② 複雑・多様化した課題への重層的な支援	○複合的課題への関係機関によるチームとしての支援 ○生活困窮者や生活上の課題を抱える人への支援	○多様化・複雑化する課題に対応する専門職の養成、スキルアップ ○困難な問題を抱える女性への支援	○分野を横断する支援ネットワークの強化 ○再犯防止と更生支援の推進	
		③ DVの防止	○DV防止に係る啓発の充実	○被害者への相談、保護、自立までの切れ目のない支援		
		④ 自殺者ゼロに向けた取組の推進	○ゲートキーパーの拡充など孤立させない環境整備 ○うつ病などのメンタルヘルス対策	○こどもの自殺対策の強化 ○自殺予防のための知識の啓発	○警察等との連携した自殺未遂者へのフォローアップ	
		⑤ ひきこもりへの取組	○ひきこもりに対する正しい理解や対応の啓発	○家族、本人が相談機関へつながる体制の構築		
		⑥ 依存症対策の強化	○専門医療機関等の体制整備 ○大阪府や近隣自治体との連携した広域的、効果的な事業推進	○自助団体等との連携強化	○依存症の知識、正しい理解の啓発	
		⑦ 権利擁護支援体制の強化	○権利擁護支援の地域ネットワークの構築	○権利擁護サポートセンターによる市民後見人の養成、相談支援		
		⑧ 多様な居場所や地域福祉活動への支援	○サードプレイス等の多様な居場所や地域福祉活動への支援	○日常的な支え合いのキーパーソンとなる人材の育成		
		⑨ 面的・一体的なバリアフリー化の推進	○生活関連施設を含む面的・一体的なバリアフリー化の推進			
(3)	高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現	① 自立支援・介護予防・健康増進の推進	○身近な地域で介護予防に取り組める体制の整備 ○適正な介護予防、生活支援サービス提供体制の充実	○フレイル予防等の多様な取組の推進 ○介護保険制度維持等に係る取組強化	○自立支援や要介護状態悪化の防止	
		② 在宅ケアの基盤整備	○地域包括支援センターの機能充実 ○ICTを活用した高齢者の見守り	○孤立化防止、総合的な相談支援体制の整備	○家族介護者への支援の充実	
		③ 介護サービスの充実・強化	○介護サービスの質の向上 ○ケアマネジメントの質の向上 ○特別養護老人ホーム等の整備	○中長期的な介護サービス提供基盤の確立 ○介護保険制度の理解促進	○介護サービス事業者の情報公開や相談、苦情等対応体制の充実 ○介護の仕事の魅力向上や定着促進	
		④ 認知症支援策の推進	○地域で暮らし続けるための医療や介護などの専門的な支援	○早期発見・早期対応のための体制整備、人材育成、啓発	○地域での対応を進めるための基盤整備	
		⑤ 高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備	○身体状況の変化に応じた適切な住宅改修	○消費者被害の防止	○最期まで自分らしく人生を過ごすための高齢者支援	
		⑥ 高齢者の社会参加と生きがい創出の支援	○生きがい・やりがい醸成の支援 ○活動機会の情報発信	○外出の促進、健康維持	○生涯学習、就労の支援	

施策		取組の方向性	主な内容
(4)	障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	① 相談支援体制の充実・強化	○地域で自立した生活を送るための支援体制、サービスの充実
		② 障害者の暮らしの場の確保	○地域全体で支えるサービス提供体制の構築 ○重度障害者の支援に係る専門人材の育成及び支援体制の構築
		③ 障害者の社会参加の促進	○地域活動、文化芸術等の社会参加の促進 ○多様な就労の場の充実、就労支援の拡充
		④ 障害のある子どもとその家族への支援	○障害児保育の充実 ○放課後児童対策における受入環境の整備 ○障害児の発達支援とその家族への支援の充実
(5)	生涯にわたる多彩なスポーツライフの実現	① スポーツ・運動習慣定着による健康増進	○ライフステージに合わせた健康増進
		② 気軽にできるスポーツの機会創出	○地域の体育館等で気軽に参加できる機会の提供 ○スポーツ施設の適切な維持・管理
		③ 多彩なスポーツ活動を通じた交流促進	○年齢等に関わらずスポーツ・運動に親しむ機会の提供 ○アーバンスポーツの普及促進
		④ 特色ある大規模スポーツ施設の活用	○海外チームのキャンプ受入等による国際交流 ○大規模大会等を通じたスポーツツーリズムの推進
		⑤ 堺ゆかりのトップレベルチームとの連携強化	○ホームゲーム、交流イベントによるスポーツへの関心向上 ○国内リーグ戦等の機会を活かしたPR、都市イメージ向上
		⑥ 世界で活躍する次世代人材の育成	○JFAアカデミーとの連携による次世代人材育成 ○トップアスリートによるスポーツ教室開催 ○地域のスポーツ少年団との連携、運動部活動の支援
			○グループホームを中心とした暮らしの場の整備 ○グループホーム入居者の状況に応じた機能強化

3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～

施策		取組の方向性	主な内容		
(1)	妊娠から青年期まで切れめのない子育て支援の充実	① 妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援	○妊娠から乳幼児期の専門職によるアウトリーチ対応 ○保護者等の多様な交流の場の構築	○各家庭の事情に添ったサービスの提供・支援	○ICT等の活用による子育て支援情報の発信
		② 多様で質の高い幼児教育・保育サービスの提供	○保育ニーズの増大と多様化に対応した保育士の確保 ○配慮を要する子どもの受入体制確保 ○幼児教育を担う人材の資質の向上	○待機児ゼロの維持と保護者満足度の向上 ○子ども誰でも通園制度の実施	○一時預かりや病児保育等の多様な保育ニーズへの対応 ○発達段階に応じた個性を伸ばす幼児教育・保育の推進
		③ 学童期から青年期の子ども・若者と家庭への支援	○放課後児童対策等事業に係る待機児童ゼロの維持 ○地域社会全体で支える子育て環境の整備 ○基本的な生活習慣の確立 ○社会生活に困難を抱える若者の自立支援	○放課後児童対策等事業の制度統一 ○子どもや若者の多様な交流の場の構築 ○健康教育・食育の推進	○保護者同士がつながりを持つための支援 ○子ども食堂への支援 ○多様なニーズに応じた体験活動の推進
		④ 子ども・若者の意見聴取と施策への反映	○子ども・若者の意見聴取と施策への反映		
(2)	子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	① 郷土・堺の歴史を学び、発信できる力の育成	○堺の伝統、文化、イノベーション精神等の継承	○国際感覚や広い視野を養う学びの充実	
		② 新しい時代に必要となる資質・能力の育成	○基礎的・基本的な知識、技能の確実な習得 ○教科等横断的な学習、探究的な学習の充実 ○小中学校における英語を使う機会の充実 ○キャリア形成と関連付けた高校での専門教育の充実	○思考力・判断力・表現力等の育成 ○子ども同士の教え合い等による協働学習の推進 ○情報活用能力の育成	○主体的に学習に取り組む態度の養成 ○学校群を中心としたマネジメントの推進 ○情報モラル教育の推進
		③ 健やかな心身の育成	○早寝・早起き・朝ごはん等の生活習慣の改善 ○運動に親しむ機会の充実、運動意欲等の向上 ○外部専門人材等の活用による部活動の充実	○小学校入学前からの基本的な生活習慣の啓発 ○プロスポーツチーム等との連携による体力・運動能力の向上 ○部活動の地域連携・地域移行の推進	○睡眠実態の把握、睡眠に関する知識の啓発 ○中学校における部活動をしない日の設定
		④ 特別支援教育の推進	○個々のニーズに応じた指導と学びの場の充実	○多様な障害特性に対応できる教員の専門性等の向上	
		⑤ 外国人児童生徒等への支援	○外国人児童生徒等への支援		
		⑥ ICTを最大限活用した教育の推進	○ICT活用による個々の状況に応じた指導、学習の改善 ○ICT活用による効果的な学習指導の研究	○ICT活用や少人数指導による学力低位層の支援 ○ICT活用による家庭との連絡や生活状況把握	○ICT活用による教材研究等の充実 ○1人1台PCを活用した家庭学習の充実
(3)	多様性を尊重した教育の推進	① 個性や違いを認め自他ともに尊重できる心の育成	○自尊心を高める取組の推進 ○同和教育等の人権教育の計画的な実践	○他者との違いを許容し思いやりを持てる取組の推進 ○教育活動を通じた人権尊重精神の育成	○学校・家庭・地域と連携した道徳教育の推進 ○あいさつ運動、朝の読書活動、茶の湯体験の充実
		② いじめへの対応強化と不登校児童生徒への支援	○児童生徒の生活把握や教職員での情報共有 ○不登校児童生徒へのICT活用による学びの支援	○SC等の専門家や関係機関と連携した支援体制の充実 ○フリースクールとの情報共有などの連携	○いじめ重大事態での被害児童生徒等に寄り添った対応、再発防止 ○不登校の児童生徒の保護者同士がつながる場や機会の提供
(4)	安心して学べる教育環境の充実	① 信頼される教員の育成	○教員が学び続ける環境の形成 ○育成段階等に応じた研修による資質・能力の向上	○ICT活用能力の向上 ○校務の効率化等を通じた多忙化の解消	○新たな教育課題等に対応した実践的指導力等の向上
		② 安全・安心でおいしい給食の提供	○安全安心でおいしい給食提供	○小中9年間を通した食育の推進	
		③ 学校施設の充実	○学校体育館の空調整備	○学校施設のトイレの改修	
		④ 学校規模の適正化	○校区の見直しを含めた学校規模の適正化		
		⑤ 学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進	○学校や教育の情報の家庭、地域への公開	○家庭への教育の支援	○子どもも大人も学び合うための環境の整備
		⑥ 生涯学習の推進	○多様な学習機会の提供 ○図書館の資料・情報の充実、利便性向上	○リカレント教育の推進 ○子どもの読書活動の推進	○生涯学習ネットワークの構築 ○中央図書館の再整備の検討
(5)	厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実	① ひとり親家庭などへの支援	○ひとり親家庭に応じた就労・生活・教育の重点的支援 ○ヤングケアラーへの支援	○貧困の連鎖解消に向けた市長部局と教育委員会が一体となった支援 ○日本語を母語としない保護者の子育て支援	
		② 社会的養護の推進	○里親などの社会的養護体制の充実 ○寄附を活用した入所児童への支援	○児童養護施設での家庭的養育の推進 ○児童養護施設等退所者への支援	○児童養護施設の人材確保支援
		③ 重大な児童虐待ゼロをめざした取組	○関係機関との連携による早期発見・早期対応	○児童福祉司の確保や大阪府警等との連携による体制充実	

4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～

施策		取組の方向性	主な内容		
(1)	行政のデジタル化、スマートシティ推進による暮らしの質の向上	① 行政のデジタル化の推進	○行政サービスのペーパーレス化・オンライン化 ○業務プロセス・システムの標準化	○AIやRPA等の新たな技術の活用 ○マイナンバーカードの取得と利活用の促進	○オープンデータ化等の積極的なデータ活用
		② まちや暮らしにイノベーションを生み出すスマートシティの推進	○国・府や地域との調整、公民連携の推進 ○個々の住民に適したサービスをワンストップで提供する仕組みの構築	○各プロジェクトを俯瞰的に捉えたマネジメント ○サービス選択性の確保等のデジタル・ディバイド対応	○プロジェクトの相互連携による相乗効果の創出
		③ 重点地域における先行的な取組の実施	○泉北ニュータウンを重点地域とした取組の先行的実施	○スマートシティサービスの本格的な実装	
(2)	人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立	① 多様な人が集う魅力的な都市空間の実現	○堺東駅・堺駅周辺の商業・業務等の都市機能の更新	○安全で快適な移動空間などウォークアブルな空間形成	
		② 駅街区等の更新	○南海高野線連続立体交差事業を見据えた堺東駅街区の更新	○なにわ筋線開業を見据えた都市機能の集積などの堺駅前空間の更新	
		③ 環濠水辺や緑を活かした魅力創出	○内川・土居川周辺における賑わいの創出	○堺旧港の海辺との水辺ネットワークの形成	○堺旧港と周辺緑地の整備・活用
		④ ベイエリアとの連携と魅力創出	○海上交通の導入に向けた検討 ○低未利用地を有効活用した賑い拠点の形成	○ベイエリアと都心をつなぐ交通ネットワークの強化	○堺旧港や堺浜の海辺を活かした魅力的な空間形成
		⑤ 新たな交通システムの導入	○堺駅と堺東駅を結ぶ新たな交通システムの導入	○新たなモビリティ・サービス等による移動環境の充実	○美原区など東部地域との交通ネットワークの構築
(3)	成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出	① 成長分野をはじめとする新事業の創出	○大阪公立大学等との産学連携の強化 ○スタートアップの成長段階に応じた支援 ○中百舌鳥エリアとうめきたエリアとの連携強化 ○アントレプレナー教育の推進	○次世代クラスター形成やイノベーション創出に取り組む環境の整備 ○学生を含めた若者の起業・創業支援 ○堺独自のスタートアップ・エコシステムの構築 ○健康・医療分野における新事業の創出	○中百舌鳥エリアへのシェアオフィス等の設置誘導 ○新ビジネスに挑む次世代経営者の育成 ○社会課題の解決に挑戦する事業者の育成
		② 中小企業による新事業の創出	○新事業創造のための社会実証等の事業化支援 ○大学の研究シーズとのマッチングによるオープンイノベーション等の促進	○デジタル技術の導入・活用支援	○大学、公設試験研究所等と連携した支援体制の構築
		③ 都市拠点にふさわしい駅前空間の創出と交通利便性の向上	○中百舌鳥における賑わい・活力を感じられる駅前空間の創出、交通利便性の向上		
(4)	泉北ニュータウンの新たな価値の創造	① 多様な世代が住み、働き、安心して暮らし続けることができる機能の充実	○シェアオフィス等の身近な働く場の整備 ○様々な分野の教育機関と連携した取組の推進 ○生活を豊かにする商業・サービス施設の誘導 ○市民協働によるまちなみの維持・向上	○次世代ヘルスケア産業等の企業誘致 ○良好な住環境等を活かした子育て世代の定住・流入促進 ○ビックバン・泉ヶ丘公園を活用した子育ての拠点整備	○近大医学部等と連携した健康寿命延伸の取組の推進 ○多様なニーズに応じた住宅供給と既存住宅の流通促進 ○ゆとりある住環境に対するシビックプライドの醸成
		② 豊かな緑空間と多様な都市機能の調和	○次世代モビリティによる地域内交通の充実 ○公園や緑道等の活用による魅力的な空間の創出	○各駅前の利便性や機能向上 ○「農ある暮らしを楽しむライフスタイル」の推進	○農地・公園等を活用した教育、体験機会の創出
		③ 市民、企業、大学、団体など様々な主体との共創	○地域住民が公園等の管理・運営に携わる取組の促進 ○共通の趣味や公園等の場を共有するコミュニティの活動促進	○商業施設、文化施設、大学、働く場等を活用した交流人口の誘引	○地縁型のコミュニティの支援
		④ 持続可能な地域をめざしたICTや社会資本の活用	○ICT等の導入による環境配慮型ライフスタイルの促進 ○地域住民等による公共空間の管理・運営が経営的に成立する仕組みの構築	○泉北スタイルに基づくNTのブランドコンセプトの構築・発信	○公的賃貸住宅等の再編に伴う活用土地への民間活力の導入
(5)	民間投資の戦略的な誘導	① 戦略的な企業投資の推進	○成長分野や研究開発機能に関する投資の促進	○特定重要物資・技術に関する投資の促進	○脱炭素エネルギー供給拠点に関する投資の促進
		② 地域特性を踏まえた企業誘致の促進	○都心は業務系、中百舌鳥はICTやスタートアップ、泉ヶ丘は次世代ヘルスケア等のエリアの特性に合わせた事業所誘致 ○都市拠点におけるオフィス供給の促進	○中百舌鳥地域における大学・交通事業者等との連携強化	○規制緩和等による企業誘致も見据えた土地利用促進
(6)	次世代につなげる農業の促進	① 地産地消の推進	○ブランド農産物の認知度向上や販路確保の支援	○学校給食や飲食店等での堺産農産物の利用促進	○農商工連携等による新商品等の創出
		② 持続可能な農業振興	○農地の利用集積・集約化 ○新規就農者等の安定的な経営基盤確立の支援 ○ため池の防災・減災対策、多面的機能の発揮	○遊休農地の発生防止・解消 ○ICT等を活用した超省力・高品質生産の支援	○農業への新規参入の促進 ○化学肥料等に過度に依存しない農業の推進
(7)	女性活躍・働く意欲がある多様な人材の活躍	① 求職者の状況に応じた就労支援	○求職者の状況に応じたきめ細かな就労支援 ○適性やスキルに応じた転職支援	○中小企業の人材確保・雇用環境整備への支援	○デジタルスキル等のリスキング支援
		② 多様な人材が活躍できる環境整備の推進	○若年者、高齢者、障害者、外国人等の雇用環境の整備		
		③ 女性が活躍できる社会の実現	○固定化された男女の役割意識の解消 ○本市の女性管理職比率等の向上	○仕事と生活との二者択一を迫られない社会の実現	○離職した女性の再就職など切れ目のない支援

5. 強くなやかな都市基盤 ～Resilient～

施策		取組の方向性	主な内容		
(1)	自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	① 危機対応力の強化	○危機事象への対応力の向上	○危機事象に対応する活動体制の強化	
		② 都市インフラの耐震化の推進	○橋りよりの耐震化 ○上下水道一体での管路や施設の耐震化	○緊急交通路となる都市計画道路の整備・改修 ○気候変動を踏まえた浸水対策の推進	○避難地等の機能を担う公園の整備・改修 ○高規格堤防整備と市街地整備の一体的な推進
		③ 安全な住宅ストックの形成	○改修、新築、建替え、除却等による住宅耐震化の促進	○安全で良質なマンションストックの形成	
		④ 空家等対策の推進	○所有者等の適切な維持管理による空家化の予防、空家の活用・流通、管理不全空家対策の推進		
		⑤ 地域防災力の向上	○家庭内備蓄等の市民自身による備えの促進 ○総合防災センターの活用等による知識、防災意識の向上	○発災時に適切な判断をするための啓発、情報発信体制の強化 ○社会福祉施設等における適切な避難の推進	○自主防災組織の支援 ○避難行動要支援者への支援
		⑥ 大規模災害を想定した対策の推進	○広域防災行政の推進 ○電気自動車や太陽光発電等による自立分散型電源の導入	○災害時の医療提供体制の強化	○被災者支援の充実
(2)	都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	① 計画的な長寿命化の推進	○都市インフラや公共施設の計画的な維持管理	○都市インフラの計画的な補修・更新	
		② 人口動態に応じた総量の最適化	○公共施設の集約化・複合化	○民間施設の活用	
		③ 民間の技術やノウハウの活用	○インフラ維持管理等へ新技術や民間技術力の活用	○ウォーターPPPを視野に入れた公民連携の推進	○民間活力の導入等による都市公園の魅力向上
		④ 安全で快適な道路ネットワークの整備	○都市計画道路の整備 ○ライフステージに応じた交通安全教育	○南海本線・高野線の連続立体交差事業の推進	○通学路等の安全安心な歩行空間の確保
		⑤ 生活基盤としての公共交通の維持確保	○交通事業者等と連携した公共交通網の充実、乗り継ぎ改善	○交通空白地域における移動環境の確保	○新たな技術やサービスの導入による交通利便性の向上
(3)	カーボンニュートラルの推進	① 脱炭素型都市構造・社会システムの構築	○太陽光発電、蓄電池の導入によるZEHの普及 ○民間施設等でのエネルギーの効率的な利用の促進 ○グリーンインフラの取組の推進	○ICTを活用した産業部門の省エネ化 ○脱炭素化に向けた革新的技術への投資促進	○市施設の省エネ改修、再生可能エネルギーの導入 ○都市部における脱炭素モデルの構築
		② 移動手段の変革と交通の脱炭素化	○MaaS、モーダルシフト等による車社会からの脱却 ○電気自動車等の導入拡大	○安全で快適な自転車通行環境の整備	○シェアサイクルの普及
		③ 気候変動適応策の推進	○災害の広域化・激甚化やヒートアイランドへの対策	○熱中症対策の推進	
		④ 生態系や緑の保全	○生物多様性の啓発	○外来生物対策の推進	○南部丘陵の緑地の保全
(4)	4Rに根差した循環型社会の形成	① 4Rの推進とごみの適正処理体制の確保	○ごみ減量化、リサイクルに関する意識向上のための情報発信 ○家庭系古紙類の回収強化 ○将来のごみ量予測を踏まえた適正な処理体制の確保	○食品ロスを含む生ごみの削減 ○事業系ごみにおけるリサイクル体制の整備 ○高齢者・障害者などのごみ出し支援	○ごみと資源の分別徹底 ○ごみの効率的な収集運搬体制の構築
		② プラスチックの循環促進と排出抑制	○プラスチックの循環促進	○マイボトル等の利用促進	
		③ 環境学習の推進	○こども、学生に重点を置いた環境学習等の実施	○ナッジ等の行動科学の知見を活用した環境行動変容の促進	
		④ 周辺地域や海外都市との連携	○周辺地域との地域循環共生圏の構築	○市内企業の環境技術等を活かした国際都市間協力の推進	
(5)	犯罪のない安心して暮らせる地域社会の実現	① 防犯環境の整備	○市民、事業者、警察等と連携した防犯活動の推進 ○消費者被害防止に向けたSNSによる情報発信	○防犯カメラ・防犯灯の効果的、効率的な運用 ○ライフステージに合わせた消費者啓発・教育	○青色防犯パトロール活動等の自主防犯活用への支援
		② セーフティさかいの推進	○性暴力等の防止に向けた対策の推進		

新たに追加することを検討する内容

施策		取組の方向性		内容	理由
1- (1)	類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上	①	類いまれな歴史文化資源の継承と磨き上げ	地域に根差した祭りの後世への継承	地域に根差した祭りは、地域の誇りとアイデンティティを形成する重要な要素であり、後世に継承すべき貴重な伝統文化である。また伝統文化は観光誘客の面からも魅力資源としてのポテンシャルを有しており重要と考える。
1- (1)	類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上	②	魅力ある地域資源を活かした観光コンテンツの発掘と充実	桜や紅葉など四季が感じられる観光コンテンツの造成	日本政策投資銀行が行った調査でも、インバウンドが日本で体験したいこととして、桜や紅葉などの鑑賞が上位に挙げられており、本市への誘客に向けて日本の四季が感じられる観光コンテンツの造成が重要と考える。
1- (1)	類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上	②	魅力ある地域資源を活かした観光コンテンツの発掘と充実	相撲など特色ある日本文化の観光コンテンツ化	本市は茶の湯や伝統産業の他にも、相撲など日本文化の中でも特色ある資源を有している。こうした特色ある資源は他都市との差別化につながる特別な体験をもたらす可能性があり、観光コンテンツとして効果的に活用することが重要と考える。
1- (1)	類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上	②	魅力ある地域資源を活かした観光コンテンツの発掘と充実	堺ゆかりの人物に着目した都市魅力の発信や向上	堺には歴史上の偉人から現在、各界で活躍されている方々まで数多くのゆかりを持つ人物がいる。こうした人物は多くの方の関心を集める存在であることに加え、その功績や生涯は堺の奥深い歴史文化等とも密接に関わるため、人物に着目した都市魅力の発信や向上に取り組むことが重要と考える。

施策		取組の方向性		内容	理由
1- (1)	類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上	②	魅力ある地域資源を活かした観光コンテンツの発掘と充実	地元で愛される飲食店などローカルな食の発掘と魅力発信	食は来訪先の地域特性を強く感じる重要な要素の一つである。また五感により「感じる」ことに加え、「知る」要素もあり観光地での体験の多様化をもたらす。地元で愛される飲食店などローカルな食は、本市の観光地としての魅力を高める新たな観光コンテンツとして重要と考える。
1- (2)	戦略的な観光誘客による地域活性化	②	滞在時間を増やし、消費効果を高める周遊の促進	MICE等の開催に伴う周遊、宿泊の促進	多くの集客が期待できるMICEの開催を支援し、あわせて宿泊事業者や文化・スポーツ施設等と連携することで市外来訪者が多く集まるイベント等（文化・スポーツ・コンベンション）の参加者の市内周遊や宿泊を促進することが重要と考える。
1- (3)	文化芸術の振興・国際交流の強化	②	「堺アーツカウンシル」などを活用した文化芸術の振興	こどもから大人までの幅広い世代への文化芸術の浸透、普及促進	市民が心豊かな生活を送り、あわせて文化芸術を継承・発展させるためには、文化芸術拠点を活用した市外からの誘客、文化芸術活動に携わる市民やアーティストの支援はもとより、こどもから大人までの幅広い世代の市民が文化芸術を身近に感じ、関わりを持つことが重要と考える。
1- (3)	文化芸術の振興・国際交流の強化	③	姉妹・友好都市やアセアン諸国をはじめとする各国との国際交流の強化	市民の国際感覚の醸成	現在の日本人住民の減少と外国人住民の増加というトレンドは今後も続く可能性がある。多様な文化や価値観を理解するための市民の国際感覚の醸成が重要と考える。

施策		取組の方向性		内容	理由
1- (4)	伝統産業のブランド力向上による活性化	②	戦略的な販路開拓と後継者育成	国内外への販路開拓の推進	海外での需要が高まる刃物等について、国外市場も含めた販路開拓を一層推進し、伝統産業の振興につなげることが重要と考える。
1- (5)	自転車を活かした魅力の創出	②	自転車安全利用の推進	自転車乗車時のヘルメット着用の徹底	2023年4月に道路交通法が改正され、自転車に乗る人のヘルメット着用が全年齢で努力義務となった。また令和5年交通安全白書によると、2018～2022年の自転車事故による死者では、頭部損傷が致命傷となったケースが半数以上で、そのうち約95%がヘルメット非着用であった。サイクルシティ堺として自転車の安全利用を推進するためにはヘルメット着用の徹底が重要と考える。
2- (1)	健康で長生きできる都市の実現	③	健康を支える地域社会の形成	健康増進活動に取り組む企業等の充実	現役世代に対しては本人の自発的な行動を促すだけでなく、雇用者サイドからのアプローチの強化も有効であるため、従業員や市民に向けて健康に関する情報提供や啓発を行うなどの健康増進活動に取り組む企業等を増加させることが重要と考える。
2- (1)	健康で長生きできる都市の実現	③	健康を支える地域社会の形成	動物愛護と適正飼育の推進	人と動物が共生する社会の実現を図るため、幅広い世代の動物愛護意識の向上、動物の適正な飼育及び管理や犬猫の譲渡推進に取り組むほか、動物愛護の推進拠点として動物指導センターを機能強化するなど、理由なき殺処分ゼロの達成に向けて取り組むことが重要と考える。

施策		取組の方向性		内容	理由
2- (1)	健康で長生きできる都市の実現	④	地域医療体制の充実	救急需要への対応、救命率の向上	高齢化の進行等により増大する救急需要に対応するため、救急体制の整備のほか、救急安心センターおおさか「#7119」の活用など救急車適正利用の啓発が重要と考える。またAEDを含む応急手当の啓発により、救命率の向上を図ることが重要と考える。
2- (1)	健康で長生きできる都市の実現	④	地域医療体制の充実	災害時の医療提供体制の強化	大規模災害発生時には多数の傷病者等が集中して発生することが想定されることから、市内医療機関等における発災後の役割分担の明確化や応急救護所の充実など災害時の医療提供体制の強化が重要と考える。
5- (1)	自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	⑥	大規模災害を想定した対策の推進		
2- (2)	暮らしを支える包括的な支援と地域福祉の充実	①	望まない孤独・孤立対策の推進	望まない孤独・孤立への対応	今後単身世帯や単身高齢者世帯の増加が見込まれ、自殺やひきこもり、ヤングケアラー、孤独死、生活困窮など孤独・孤立に関連する問題の深刻化が懸念されるため、全ての人が望まない孤独や孤立に陥らず、居場所や相談、交流の場を確保するなど、困難を抱える人を誰一人取り残さない多面的な支援が重要と考える。
2- (2)	暮らしを支える包括的な支援と地域福祉の充実	②	複雑・多様化した課題への重層的な支援	困難な問題を抱える女性への支援	2024年4月に施行された「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」において困難な問題を抱える女性一人一人のニーズに応じた切れ目のない包括的な支援が求められている。本市としても生活困窮、性暴力・性犯罪被害、家庭関係破綻など女性をめぐる問題が複雑化、多様化、複合化していることを踏まえ、困難を抱える女性が安心して、自立した暮らしができるように適切に支援することが重要と考える。

施策		取組の方向性		内容	理由
2- (2)	暮らしを支える包括的な支援と地域福祉の充実	②	複雑・多様化した課題への重層的な支援	再犯防止・更生支援の推進	<p>刑法犯検挙者に占める再犯者率は2022年で47.9%であるなど高止まりが続いている。また犯罪に至る背景には生活困窮、障害、依存症など複合的な課題が関わることも多い。すべての方が安心して暮らせる都市であるため、矯正施設出所前後に支援が必要な方に対して、関係機関と連携し、包括的な支援体制を構築するなど、再犯防止・更生支援を推進することが重要と考える。</p>
2- (2)	暮らしを支える包括的な支援と地域福祉の充実	④	自殺者ゼロに向けた取組の推進	こどもの自殺対策の強化	<p>国内の小中高生の自殺者数は増加傾向で推移しており、2024年は過去最多となった。自殺危機対応にあたる学校（教職員）に対する専門家等による支援など、対応スキルの向上や自殺危機対応への心理的ストレスの低減を図り、こどもの自殺対策を強化することが重要と考える。</p>
2- (3)	高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現	⑤	高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備	最期まで自分らしく人生を過ごすための高齢者支援	<p>超高齢社会の進行に伴い、単身高齢者や高齢者のみの世帯、認知症の方などが増える中、自らの意思に沿った形で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるようにするためには、元気なうちから最終段階における医療や介護について話し合う人生会議（ACP）の推進、自ら意思決定を行うことが困難になった際に備えた権利擁護・意思決定支援、死後まで見据えた「終活」に対する相談支援や普及啓発など終末期までを見据えた高齢者へのきめ細かな支援を推進することが重要と考える。</p>
2- (4)	障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	②	障害者の暮らしの場の確保	重度障害者の支援に係る専門人材の育成及び支援体制の構築	<p>強度行動障害のある人や医療的ケアを必要とする人など重度障害者への支援においては専門人材の不足等が課題となっていることから、重度障害者が安心して地域で暮らせるよう、専門人材の育成及び支援体制の構築に取り組むことが重要と考える。</p>

施策		取組の方向性		内容	理由
2- (5)	生涯にわたる多彩なスポーツライフの実現	③	多彩なスポーツ活動を通じた交流促進	アーバンスポーツの普及促進	東京2020オリンピックやパリ2024オリンピックなどの大規模国際大会を契機に、スケートボード、プレイキン、BMXなど競技者と見る人が一体になって楽しむこと等の特徴とするアーバンスポーツへの注目度が高まっている。これらのスポーツは、これまでスポーツに関心が低かった層が、新たにスポーツを始めるきっかけになる可能性があり、アーバンスポーツの普及を通して、市民のスポーツ・運動習慣の向上が期待できると考える。
3- (1)	妊娠から青年期まで切れめのない子育て支援の充実	②	多様で質の高い幼児教育・保育サービスの提供	こども誰でも通園制度の実施	家庭とは異なる経験や家族以外の人と関わる機会などを通じてこどもの成長を見守り、また孤立感や不安感を抱えながら子育てしている保護者を支援するため、一定の利用可能枠の中で就労要件を問わず教育・保育施設を利用できる「こども誰でも通園制度」について、2025年度の試行実施の結果を踏まえて本格実施する。
3- (1)	妊娠から青年期まで切れめのない子育て支援の充実	②	多様で質の高い幼児教育・保育サービスの提供	配慮を要するこどもの受入体制確保	近年、保育施設等を利用する医療的ケア児や特別支援児等の配慮を要するこどもは増加傾向にあり、安全・安心な集団保育を実施するための受入体制の確保が重要と考える。
3- (1)	妊娠から青年期まで切れめのない子育て支援の充実	③	学童期から青年期のこども・若者と家庭への支援	地域社会全体で支える子育て環境の整備	2023年12月に国が策定した「こども大綱」では、子育てとは、こどもの誕生前から男女ともに始まっており、乳幼児期の後も学童期、思春期、青年期を経て、大人になるまで続くとの認識の下、ライフステージを通じて、社会全体で子育て当事者を支えていくと示されている。地域とのつながりの希薄化が進む中、本市においても、子育てへの不安や負担を保護者だけで抱え込むことがないよう、こどもを取り巻く地域、施設、学校、企業等、社会全体でこどもの成長を見守り、支え合える環境を整備することが重要と考える。

施策		取組の方向性		内容	理由
3- (1)	妊娠から青年期まで切れめのない子育て支援の充実	③	学童期から青年期の子ども・若者と家庭への支援	子ども食堂への支援	子ども食堂は、様々な家庭環境で暮らす子どもたちに健康的な食事や安心できる居場所を提供するほか、孤食を防ぎ、地域の人たちのつながりを育む場となる。今後も子ども食堂を広げ、持続的に運営することができるように、地域の関係団体等と連携した支援が重要と考える。
3- (1)	妊娠から青年期まで切れめのない子育て支援の充実	④	子ども・若者の意見聴取と施策への反映	子ども・若者の意見聴取と施策への反映	2023年4月に施行された「子ども基本法」では、子ども施策を策定、実施、評価するに当たって、施策の対象となる子ども等の意見を幅広く聴取して反映させるために必要な措置を講ずることが国や地方公共団体に義務付けられている。本市においても、子どもの成長に対する支援等を主たる目的とする施策に加え、教育施策、雇用施策、医療政策など幅広い施策に対し、子ども等への意見聴取と施策の反映を積極的に行うことが重要と考える。
3- (2)	子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	①	郷土・堺の歴史を学び、発信できる力の育成	国際感覚や広い視野を養う学びの充実	グローバル化が加速する新しい時代を見据え、様々な機会を捉えて国際交流や外国の文化等に関する理解を深める機会を充実し、国際感覚や広い視野を養うことで、多様な価値観への理解を深め、将来の可能性を広げることが重要と考える。
3- (2)	子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	②	新しい時代に必要となる資質・能力の育成	学校群を中心としたマネジメントの推進	急激に変化する時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育み、可能性を引き出す「総合的な学力」の向上を図る必要がある。そのため、学校群での授業の改善、カリキュラムの改善、それらを支えるマネジメントに取り組み、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と子どもたちの多様な個性を最大限に活かす「協働的な学び」の一体的な充実を図ることが重要と考える。

施策		取組の方向性		内容	理由
3- (2)	こどもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	③	健やかな心身の育成	部活動の地域連携・地域移行の推進	少子化や教員の働き方改革が進む中であっても、子ども達がスポーツや文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保し続けるため、学校部活動の地域との連携や地域クラブ活動への移行に向けた検討を進めることが重要と考える。
3- (2)	こどもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	⑤	外国人児童生徒等への支援	外国人児童生徒等への支援	本市において日本語指導が必要な幼児・児童・生徒数は増加傾向で推移している。外国人の転入超過が続く中、今後もこのトレンドは継続する可能性が高い。日本語指導が必要な児童等が市内の小中学校等に転入学するにあたり、日本の教育環境に馴染むことができるよう、日本語指導や学習支援などの強化等が重要と考える。
3- (3)	多様性を尊重した教育の推進	②	いじめへの対応強化と不登校児童生徒への支援	不登校の児童生徒の保護者同士がつながる場や機会の提供	不登校の児童生徒を持つ保護者は、問題の特性上、周囲に相談できる人がおらず、一人で悩みを抱え込んでいるケースがある。また不登校の改善には保護者のこどもへの適切な対応や精神的な安定も重要である。不登校児童生徒の保護者同士のつながりをつくり、悩みや困りごとを共有できる環境を構築することで、保護者の孤立感の解消を図ることが重要と考える。
3- (4)	安心して学べる教育環境の充実	③	学校施設の充実	学校体育館の空調整備	児童・生徒の熱中症予防や教育環境及び避難所環境の充実を図るため、小・中学校、高等学校及び特別支援学校の体育館への空調整備が重要と考える。

施策		取組の方向性		内容	理由
3- (5)	厳しい環境にあること もと家庭への支援の 充実	①	ひとり親家庭などへの 支援	ヤングケアラーへの支援	家庭内のデリケートな問題であることなどから表面化しにくいヤングケアラーの問題は本人の学校生活や健康面、友人関係、将来の孤独・孤立、就労など学齢期だけでなく、成人後にも様々な影響がおよぶ可能性が懸念されるため、家事、育児等の負担軽減を図るなど、本人の育ちや学びを支えることが重要と考える。
3- (5)	厳しい環境にあること もと家庭への支援の 充実	②	社会的養護の推進	児童養護施設等退所者への支援	児童養護施設等の退所後に孤立化し、生活苦に陥るケースがあることが課題となっている。入所中から社会適応力を身につける取組を進めることに加えて、退所後も必要に応じて支援することが重要と考える。
4- (1)	行政のデジタル化、スマートシティ推進による暮らしの質の向上	②	まちや暮らしにイノベーションを生み出すスマートシティの推進	個々の住民に適したサービスをワンストップで提供する仕組みの構築	ICTを活用した暮らしに関わるサービスが拡大、浸透していることを踏まえ、住民サービスの標準的な手段としてのICTの実装を更に推進する必要がある。そのため大阪総合行政ポータル「my door OSAKA」を活用した住民それぞれの適性に応じた複数サービスのシームレスな提供を進め、スマートシティを実現することが重要と考える。
4- (3)	成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出	①	成長分野をはじめとする新事業の創出	社会課題の解決に挑戦する事業者の育成	本市の起業家や中小企業者は、地域・社会の課題解決や新しい価値（インパクト）の創出と同時にビジネスとしての持続的な成長を志す事業者が多いことが特色であり、これらの事業者の育成によってビジネスが定着・拡大することで、地域・社会の課題解決や都市活力の向上が期待できると考える。

施策		取組の方向性		内容	理由
4- (3)	成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出	①	成長分野をはじめとする新事業の創出	アントレプレナー教育の推進	国のスタートアップ5か年計画においては、スタートアップ創出に向けた人材育成として「小中高生を対象とした起業家教育の実施」が盛り込まれるなど起業家教育の重要性が示されている。本市においても中百舌鳥エリアを核として、将来に渡り絶え間なくイノベーションが創出されるには、起業家へのサポートとあわせて、こどもたちへのアントレプレナー教育を推進し、イノベーション創出の担い手となる人材を育成することが重要と考える。
4- (4)	泉北ニュータウンの新たな価値の創造	①	多様な世代が住み、働き、安心して暮らし続けることができる機能の充実	多様なニーズに応じた住宅供給と既存住宅の流通促進	市内で人口減少・高齢化が特に進んでいる泉北ニュータウンでは新たに開発できる土地が少なく、まとまった新築住宅の供給量が少ないことや公的賃貸住宅は老朽化が進んだ建物が多く、子育て世代等の多様なニーズに対応していないことなどが課題となっている。そのため、多様なニーズに応じた住宅の供給や既存住宅の流通を進めることで、子育て世代等の定住・流入促進を図ることが重要と考える。
4- (4)	泉北ニュータウンの新たな価値の創造	①	多様な世代が住み、働き、安心して暮らし続けることができる機能の充実	生活を豊かにする商業・サービス施設の誘導	近隣センターにおける核店舗の撤退など商業・サービス機能の低下の課題を踏まえ、身近な場所において、生活を豊かにする店舗や機能が充実するように、商業・サービス施設を誘導することが重要と考える。
4- (5)	民間投資の戦略的な誘導	①	戦略的な企業投資の推進	特定重要物資・技術に関する投資の促進	近年、米中対立やロシアによるウクライナ侵攻、新型コロナウイルスの感染拡大などにより、国際的なサプライチェーン寸断のリスクが顕在化したことを背景に、国において国民生活や経済活動にとって重要な半導体やバイオ技術等を特定重要物資・技術として指定し、国内での生産・研究体制の強化を支援し、安定供給の確保を図る方針が示された。よって特定重要物資・技術に関連する事業所は継続した国内投資が期待できることから、重点的に市内への誘導を図ることが重要と考える。

施策		取組の方向性		内容	理由
4- (5)	民間投資の戦略的な誘導	①	戦略的な企業投資の推進	脱炭素エネルギー供給拠点に関する投資の促進	2050年カーボンニュートラル実現に向け、産業活動でも脱炭素エネルギーへの転換が求められている。また本市臨海部には石油化学や鉄鋼など相当量のCO2を排出する事業所が集積し、大量の電力を消費するAIデータセンターの立地に向けた動きが進行するなど、これまで以上に脱炭素エネルギーの需要が高まることが予想される。水素・アンモニアなどの脱炭素エネルギー供給拠点の有無は、今後の企業の投資判断にも影響を及ぼす可能性が高く、重点的に市内への誘導を図ることが重要と考える。
4- (6)	次世代につなげる農業の促進	②	持続可能な農業振興	化学肥料等に過度に依存しない農業の推進	化学肥料は製造過程で化石燃料を使用し、その原材料の多くを輸入に頼っている。資源の地産地消や農業由来の温暖化物質の削減を図り、都市農業の持続可能性を確保するため、地域内資源である牛ふん堆肥など、有機性資源を有効に利用した土づくりを基本とするオーガニックビレッジの推進を含め、化学肥料や化学合成農薬に過度に頼らない環境に配慮した農業の普及が重要と考える。
4- (7)	女性活躍・働く意欲がある多様な人材の活躍	①	求職者の状況に応じた就労支援	デジタルスキル等のリスキリング支援	生産年齢人口の減少を背景に、人手不足が続く中、DX等による生産性向上は喫緊の課題となっているが、多くの中小企業でデジタルスキルを持つ人材が不足している。そのため、求職者のデジタルスキル等のリスキリングの支援を行い、雇用の維持・拡大や市内企業のDX 推進、生産性の向上を図ることが重要と考える。
4- (7)	女性活躍・働く意欲がある多様な人材の活躍	①	求職者の状況に応じた就労支援	適性やスキルに応じた転職支援	現在、企業側では人手不足が深刻化しており、また働き手側では物価高騰を背景にして収入増や非正規雇用から正規雇用への転換をめざし多くの方が転職を希望している。一方で、転職者に即戦力を求める傾向が強い企業側と自身のキャリアや職業に対する理解が十分でない働き手側にミスマッチが生じていることから、カウンセリングやマッチング機能の強化などにより円滑な転職を促進し、個々のニーズにあった働き方の実現や地域経済の活性化につなげることを重要と考える。

施策		取組の方向性		内容	理由
5- (1)	自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	③	安全な住宅ストックの形成	安全で良質なマンションストックの形成	今後、高経年マンションが増加し、建物の老朽化に伴う問題の顕在化や住民の高齢化による管理組合の担い手不足等が懸念される。これらを未然に防ぐため、管理組合への助言・指導など、マンション管理の適正化に向けた支援が重要と考える。また高経年マンションの改善・建替えを促進し、良好な住環境の形成を図ることが重要と考える。
5- (1)	自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	⑥	大規模災害を想定した対策の推進	広域防災行政の推進	大規模災害時には、国や大阪府、近隣自治体等と連携した災害応急対応が欠かせない。令和6年能登半島地震の被災地支援の経験等を踏まえ、本市が被災した際の受援力（他都市から支援を受ける体制等）の強化や他都市が被災した場合に速やかに被災地に職員派遣を行う応援体制の充実及び連携強化が重要と考える。
5- (1)	自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	⑥	大規模災害を想定した対策の推進	被災者支援の充実	令和6年能登半島地震など近年の大規模災害では在宅等で避難生活を送る方が多いほか、感染症のリスクを踏まえた分散避難が進むなど、避難生活の形態が大きく変化している。そのため様々な形態で避難生活を送る被災者が発生することを想定し、緊急物資の確保や避難所環境の充実など、被災者支援の取組を進めることが重要と考える。
5- (2)	都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	③	民間の技術やノウハウの活用	民間活力の導入等による都市公園の魅力向上	公園の持つ豊かな自然環境、美しい景観、防災機能等を守りながら、民間活力の導入等により、持続可能で多様な世代が集い賑わう公園整備や活用を進めることで、地域の魅力や可能性をさらに高めることが期待できると考える。

施策		取組の方向性		内容	理由
5- (2)	都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	⑤	生活基盤としての公共交通の維持確保	新たな技術やサービスの導入による交通利便性の向上	人口減少・高齢化や運転士の不足などを背景に、全国的に公共交通の維持が課題となっている。AIオンデマンドバスや自動運転バス、次世代モビリティなど新たな技術やサービスの導入等により利便性の向上をめざすことが重要と考える。
5- (3)	カーボンニュートラルの推進	①	脱炭素型都市構造・社会システムの構築	都市部における脱炭素モデルの構築	2050年のカーボンニュートラルの実現に向けては、市域の省エネ、再エネの普及等を加速度的に進める必要があり、その端緒として脱炭素先行地域「堺エネルギー地産地消プロジェクト」において、既設建物のZEB化や市内産再エネ100%電力の供給、ゼロエネルギータウンの創出といった都市部における脱炭素モデルを構築し、市域に波及させることが重要と考える。
5- (4)	4Rに根差した循環型社会の形成	②	プラスチックの循環促進と排出抑制	プラスチックの循環促進	2022年4月にプラスチック資源循環促進法が施行され、プラスチック使用製品廃棄物については、プラスチック製容器包装であるか否かに関わらず、分別収集及びリサイクルの推進が求められている。このことを踏まえ、本市における対応の検討を進めるなど、更なるプラスチックの循環促進に取り組むことが重要と考える。

現行計画策定時からの状況の変化等を踏まえ特に記載の更新が必要な内容

施策		取組の方向性		内容	理由
1- (3)	文化芸術の振興・国際交流の強化	②	「堺アーツカウンシル」などを活用した文化芸術の振興	公募型補助金による社会課題解決等の取組推進 【現行計画における記載】 「公募型補助金の創設」	文化芸術活用支援のための公募型補助金は創設済みであり、今後はこれを一層活用し、文化芸術活動のすそ野の拡大と文化芸術による社会的課題の解決等をめざすことが重要と考える。
1- (4)	伝統産業のブランド力向上による活性化	①	伝統産業のブランド化	堺伝匠館を拠点とした伝統産業の振興・発信 【現行計画における記載】 「伝統産業会館のリニューアル」	堺伝統産業会館は堺伝匠館としてリニューアルが完了しており、リニューアル後は民間事業者へ運営を委託し、販売拡大や魅力発信等の取組が進めている。今後もこうした取組を通じて堺伝匠館を拠点に伝統産業の振興や発信を進めることが重要と考える。
1- (5)	自転車を活かした魅力の創出	①	自転車利用の拡大	広域自転車ルートの利用促進 【現行計画における記載】 「広域自転車ルートの整備」	市域の広域自転車ルートである大和川リバーサイドサイクルライン等の整備を2024年度に完了した。今後はこれらのサイクルラインの利用を促進することが重要と考える。
3- (1)	妊娠から青年期まで切れめのない子育て支援の充実	②	多様で質の高い幼児教育・保育サービスの提供	待機児ゼロの維持と保護者満足度の向上 【現行計画における記載】 「待機児ゼロに向けた受入枠拡大」	現在は待機児童数ゼロが維持されている状況にあり、今後もこれを維持しながら、更に地域における保育ニーズと受入枠のミスマッチの解消や利用に係る利便性向上を図ることで、子育て家庭の保護者満足度をより向上させることが重要と考える。

施策		取組の方向性		内容	理由
3- (1)	妊娠から青年期まで切れめのない子育て支援の充実	③	学童期から青年期の子ども・若者と家庭への支援	放課後児童対策等事業に係る待機児童ゼロの維持 【現行計画における記載】 「放課後児童の待機児童解消」	現在は待機児童数ゼロが維持されている状況にあり、今後も引き続き待機児童ゼロの維持に取り組むことが重要と考える。
4- (1)	行政のデジタル化、スマートシティ推進による暮らしの質の向上	①	行政のデジタル化の推進	マイナンバーカードの取得と利活用の促進 【現行計画の記載】 「マイナンバーカードの取得促進」	マイナンバーカードはデジタル空間における最高位の本人確認機能を有しており、市民それぞれに最適化された利便性の高い行政サービスの提供や行政の業務効率化を実現するための重要な基盤である。引き続きマイナンバーカードへの理解を促進し普及を図ることに加え、今後は一層の利活用を進めることが重要と考える。
4- (1)	行政のデジタル化、スマートシティ推進による暮らしの質の向上	③	重点地域における先行的な取組の実施	スマートシティサービスの本格的な実装 【現行計画における記載】 「ヘルスケア、モビリティ、コミュニティ、リモートワーク、エネルギー等の実証プロジェクトの推進」	ヘルスケア、モビリティ等のスマートシティサービスに関する取組について、これまでの様々な実証プロジェクトを踏まえ、今後は本格的な実装を進めることが重要と考える。
4- (2)	人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立	②	駅街区等の更新	南海高野線連続立体交差事業を見据えた堺東駅街区の更新 なにわ筋線開業を見据えた都市機能の集積などの堺駅前空間の更新 【現行計画における記載】 「南海高野線連続立体交差事業を見据えた堺東駅前空間の再編の検討」 「なにわ筋線開業を見据えた都市機能の集積などの堺駅前空間の再編」	2024年7月に堺東エリアの市街地整備に向けた基本的な考え方を取りまとめた。また堺東駅は南海高野線連続立体交差事業、堺駅はなにわ筋線開業を見据え、駅街区等の更新を進めることが重要と考える。

施策		取組の方向性		内容	理由
5- (1)	自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	②	都市インフラの耐震化の推進	<p>上下水道一体での管路や施設の耐震化</p> <p>【現行計画における記載】 「水道の優先耐震化路線の耐震化の早期完了」 「基幹管路、配水池等の耐震化」 「下水道施設の耐震化・耐水化」</p>	令和6年能登半島地震では、上下水道施設に甚大な被害が発生し、復旧が長期化した。また被災時の水道・下水道の両方の機能確保の重要性が顕在化した。これらを踏まえ、配水場や水再生センターなど被災することで上下水道システム全体が機能を失う急所施設に加え、災害医療協力病院や避難所等の重要施設に接続する管路等を上下水道一体で耐震化することが重要と考える。
5- (1)	自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	②	都市インフラの耐震化の推進	<p>気候変動を踏まえた浸水対策の推進</p> <p>【現行計画における記載】 「雨水ポンプ場や雨水管等の整備」 「浸水対策としてハザードマップや水位情報の提供」</p>	近年、気候変動の影響により短時間強雨の頻発化や台風の大型化等が進んでおり、今後は気候変動による将来的な降雨量の増加も考慮した上で、河川の治水安全度の向上や雨水管の整備等のハード整備と内水ハザードマップの更新等のソフト対策の両面での浸水対策の推進が重要と考える。
5- (2)	都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	③	民間の技術やノウハウの活用	<p>ウォーターPPPを視野に入れた公民連携の推進</p> <p>※ウォーターPPP 水道、工業用水道、下水道について、公共施設等運営事業（コンセッション）と、これに段階的に移行するための官民連携方式（管理・更新一体マネジメント方式）を併せた総称。</p> <p>【現行計画における記載】 「上下水道施設におけるPFI等の公民連携の推進」</p>	上下水道事業においては、現在、営業業務や施設・管路の維持管理業務等において、包括的民間委託を導入している。今般、内閣府から新たな公民連携手法としてウォーターPPPが示されたことを受け、施設の老朽化や技術職員の確保等の課題を有する本市においても、持続可能な事業運営のため、ウォーターPPPを視野に入れた最適な公民連携を推進することが重要と考える。
5- (3)	カーボンニュートラルの推進	③	気候変動適応策の推進	<p>熱中症対策の推進</p> <p>【現行計画における記載】 「熱中症に対する情報発信や注意喚起」</p>	気候変動・地球温暖化に伴い、今後、夏の危険な暑さの頻度・強度が一層高まることが懸念されるため、熱中症に対する情報発信や注意喚起に加え、熱中症特別警戒アラートなどの周知、指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の開放など、更なる熱中症対策の推進が重要と考える。

施策		取組の方向性		内容	理由
5- (5)	犯罪のない安心して暮らせる地域社会の実現	①	防犯環境の整備	防犯カメラ・防犯灯の効果的、効率的な運用 【現行計画における記載】 「戦略的な防犯カメラ・防犯灯の設置」	戦略的な防犯カメラ・防犯灯の設置が完了したことを踏まえ、今後は地域が設置したのも含め、犯罪の抑止につながるように効果的・効率的に運用することが重要と考える。